

☆☆めざす児童像：「気づく子 学ぶ子 元気な子」☆☆

大村市立大村小学校
学校だより

感じて動く

文責：校長 高木 修
令和6年1月17日 No.20

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

◆ 学校評価について



12月に実施しました学校評価（保護者アンケート）の結果を報告いたします。
下記の集計結果のとおり、計19項目についての評価をいただきました。
御協力をいただき、ありがとうございました。

4（よくあてはまる） ⇔ 1（あてはまらない）	4・3	2・1	平均
①学校だよりや行事のあいさつ等で、学校の方針や取組がよく分かる	93%	7%	3.7
②学校は清潔感があり、学ぶのにふさわしい環境づくりに努めている	79%	21%	3.2
③信頼して学校に子どもを通わせている	93%	7%	3.7
④学校は、保護者の質問や相談に、親身になって対応している	90%	10%	3.6
⑤学校は、いじめをなくす努力をしている	84%	16%	3.4
⑥学校は、子どもが行きたい学校になるよう努力している	88%	12%	3.5
⑦学校は、楽しく分かりやすい授業を目指し、指導を工夫している	88%	12%	3.5
⑧学校は、児童一人一人に応じた学習指導に努めている	70%	30%	2.8
⑨自分の子どもは、家庭学習に取り組む習慣が身に付いている	71%	29%	2.8
⑩学校は、タブレット等のICT機器を学習に活用している	74%	26%	3.0
⑪学校は、命や人権を大切にする意識や態度を育てるよう努めている	87%	13%	3.5
⑫大村小の児童は、明るいあいさつと元気な返事ができる	73%	28%	2.9
⑬大村小の児童は、きまりを守り協力することができる	85%	15%	3.4
⑭自分の子どもは、読書の習慣が身に付いている	56%	44%	2.2
⑮自分の子どもは、早寝・早起き・定時登校など、規則正しい生活習慣が身に付いている	81%	19%	3.2
⑯学校は、基本的な生活習慣を身に付けさせるため、丁寧な指導ができています	87%	13%	3.5
⑰学校は、安全な環境づくりに努めている	92%	8%	3.7
⑱学校は、ふるさと（校区、市、県）の学習を充実させている	90%	10%	3.6
⑲学校は、地域の人達と協力した教育活動を行っている	96%	4%	3.8

※ 今年度、「大村市学校評価要項」が改定されたことに伴い、昨年度までのアンケートの内容（評価項目等）についての見直しを行いました。保護者アンケートの評価項目が14→19になっているのはそのためです。

各項目とも「4段階」で評価をしていただいています。うち、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の合計を「肯定的評価」と捉え、その割合を表に示しました。

下記は、各領域別の考察です。



〈考察〉

○ 学校運営

①から⑥の6項目は、「学校運営」に関わる項目です。①③④で90%を超える評価をいただいていることがとてもありがたいです。しかし、②の「環境づくり」については、79%という結果でした。職員間で共通理解を図り、より良い環境づくりを目指していきます。⑤の「いじめをなくす努力」についても、②の「命や人権を大切に作る意識や態度を育てる努力」と関連させながら、学校全体で取り組み、指導を充実させていきます。

○ 学力の保障

⑦から⑩の4項目は、「学力の保障」に関わる項目です。⑧の「児童一人一人に応じた学習指導」については、70%という結果となりました。今、教育現場では、「個別最適な学び」という言葉をよく耳にします。それぞれの個に応じた指導の在り方を、保護者の皆様の協力を得ながら探っていけたらと思っています。⑨の「家庭学習」は71%という結果でしたが、児童へのアンケートでは、87%の児童が「家庭学習の習慣が身に付いている」と答えています。取り組む姿勢や時間等、保護者の皆様からすると、「まだまだ…」と感じておられるのかもしれませんが、自主的に学習に向かうことができるよう、これからも児童への励ましの声かけをお願いします。⑩の「ICT機器の活用」については、一人一台のタブレットの配当があったことで、触れる機会は増えています。ただし、学年や学級により差があることも事実です。職員研修により、活用方法について学びを深めているところです。

○ 心の教育の充実

⑪から⑭の5項目は、「心の教育の充実」に関わる項目です。⑬の「あいさつや返事」については、73%という結果でした。これは、昨年度と同じ結果です。しかし、確かに個人差はあるのですが、今年度、児童会の取組として「ポジティブあいさつ週間」を設定したことで、児童の意識が変わりました。立ち止まって丁寧にあいさつしたり、元気よくあいさつをしたりと、とても気持ちのよいあいさつができる児童が増えています。引き続き、あいさつの励行と称賛に努めていきます。⑭の「読書の習慣」は、今年度より加えた項目です。56%と全項目の中で最も低い結果でした。学校では、読書に親しむきっかけづくりを行っていますが、どうしても高学年になるにつれて、本の貸し出し冊数は減っていきます。習い事等によりすることも増え、特に家庭での読書時間の確保が難しい児童もいるのではないのでしょうか。学校での働きかけは、今後も工夫しながら続けていきます。（ちなみに3学期は、1月22日から4週間、「ブックハート月間」に取り組みます。）

○ 健康安全教育

⑮から⑰の3項目は、「健康安全教育」に関わる項目です。⑮の「規則正しい生活習慣」は81%という結果で、昨年度の75%を上回りました。元気を保ち、健康な毎日を過ごすためにも、心にゆとりをもって生活するためにも、「規則正しい生活習慣」を定着させたいです。各御家庭でも、メディア使用のルールづくりも含め、見守りや励ましの声かけをお願いします。

○ 郷土教育

⑱⑲の2項目は、「郷土教育」に関わる項目です。どちらも高い評価をいただきました。玖島中学校区の4校は今年度「ふるさと学」の研究指定を受けています。1月23日（火）に玖島中学校で行われる「ふるさと学発表会」や「くしまルシェ」には、6年生が参加予定です。今後も学びの充実を図っていきます。⑲については、あらゆる場面で私自身もそのありがたさを感じています。特に今年度は、「創立150周年記念式典」や「くろもんまつり」を実施し、地域や保護者の皆様方の協力のおかげで、大満足の時間となりました。いつも本当にありがとうございます。

※ 学校評価アンケートは、児童、教職員、地域の皆様にも行っています。それぞれの結果とも比較・考察し、更なる教育活動の充実に取り組んでまいります。

